

第2回 作手地域協議会 会議録【要約】

日時	令和6年5月31日（金） 午後7時30分～午後8時55分	○公開・一部非公開・非公開
場所	作手総合支所 会議室	
出席者	委員22名（欠席者1名） 事務局3名	傍聴人数 1名
次 第	1 あいさつ 2 情報提供 3 報告事項 第1回会議録について 4 議事 作手地域自治区予算候補の検討について 5 その他 第3回作手地域協議会の日程調整 (配布資料) 次第、地域自治区予算概要、令和6年度作手地域自治区予算事業計画、作手地域自治区予算事業一覧、令和6年度作手地域自治区予算事業検討資料、令和6年度作手地域自治区予算事業候補の検討【参考資料】	

1 あいさつ

会長より挨拶。副会長より挨拶。
会議録署名委員を依頼。

2 情報提供

地域情報や団体の活動報告などの情報共有を行った。

3 報告事項

第1回会議録を資料に振り返りを行った。

4 議事

作手地域自治区予算候補の検討について

(事務局説明)

- ・地域自治区予算事業概要。
- ・グループワークを行い各班ごとに発表を行う。

グループごとに分かれて話し合いを行った。以下発表要旨。

A班：住環境の良いところとして、静か、涼しい、豊田・豊橋・岡崎まで1時間で通勤可能。自然・環境で米やミツマタ、城、滝、紅葉が魅力で観光になるのではないか。また人が穏やかだったり協力的だったりするところも作手の良さだと思う。

課題としては良いところのアピールが弱い。若い方はSNS等、年配の方は広報やパンフレットなどいろいろな方法で行ったほうがよい。村時代にはあった観光パンフレット、コースマップがあつてはどうか。デマンドバスを日曜日にこそ走らせてはどうか。昼食難民の方がいる、トイレの整備も行うべき。

B班：現在の作手の状況について話し合った。1次産業従事者は人手不足が発生しており、そうでない人は仕事がないように感じている。また住民はきれいな町が望ましいが、人手不足で整備が追いつかない地域がある。一方、市外の若者は何もない作手に魅力を感じている。住む場所についても新たに家を建てるのではなく、リノベーションを行う若者が増えている。B班の提案は、今言ったような方々の情報を交換できるような場所を作る事を提案する。その場所を通じて交流人口を増やすためにSNS等を利用して市外の若者に情報発信するようなツールをつくる。

C班：2,050年に人口が1,000人になってしまう予想がある。防災に関して取り組みを強化しなければ人の少ない地区は大変である。また農林業が衰退してきて課題がある。市外から人を呼ぶのであれば古宮城等の整備を行うべき。てづくり村の情報館があるのでしっかりと活用し来られた方に地元をアピールすべき。人が減少していくが若者への負担は減らすべきである。農業の支援は拡充していくべき。具体的には定住する方への支援の延長。そのような事業を行うには市とJAが協力して行うべき。企画調整課に空き屋の窓口ができたので、地域の人も周知すべき。100件ほど問い合わせがあったがなかなかマッチできていない。借家、農地付きなど様々な方法を模索してはどうか。また地域の住民が地域の説明をすることで溶け込みやすいと思う。医療の崩壊状態を改善して欲しい。

5 その他

第3回作手地域協議会の日程調整

日時：令和6年6月21日（金）午後7時30分から

場所：作手総合支所 会議室

【終了】